



公明党 嶋田弘二 12
障がい者施設整備について

問医療的ケアを必要とする重度障がい者（児）の看護は、家族の心身の負担が大きい。生活介護施設の整備が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答福祉部長 新たに障害福祉サービスを開始しようとする事業者や既存の事業者に対し、本市での生活介護施設の必要性や補助制度等についての説明会を実施するとともに、

施設整備を呼びかけるチラシを作成し、障害福祉に関係する事業者のみならず、医療や介護等に関係する事業者にも配布し、障害者の利用する生活介護施設等の開設の検討を呼び掛けている。今後もこうした取り組みを実施し、施設整備の促進に努めていきたい。

問保育園幼稚園通園環境
問障がい者の施設整備



政晴会 明ヶ戸亮太 13
ICTに若手職員の参画を

問ICTを活用するためにはテックに対するリテラシーが重要だが、次期情報化推進プラン策定に当たり、若手職員を参画させるべきではないか。

答総務部長 本市情報化施策を取り巻く外部環境は、本推進プランの策定時と比べ、大きく変化しており、新たな施策を検討する必要があると認識している。

次期推進プランの策定に当たっては、若手主体のワーキンググループを作るなど、全庁を通じて、より広い世代からの意見や提案を求めていく。また、今後適切に対応していくため、情報分野に明るい職員を増やすことが重要であるので、人材の育成にも取り組んでいく。
問ICT利活用
問避難場所案内の更新



公明党 田畑たき子 14
児童虐待防止の取り組み

問各種の子育て講座等に参加できない保護者のために、DVDの配布やインターネットの動画を活用した周知をすることは可能か伺う。

答こども未来部長 講座等について、定員があるものや保護者の都合などから希望する講座等に参加することができないこともあるかと思われる。現状では、著作権の問題

や、講座以外での視聴では効果が得にくくなることから考えられることから、DVDやインターネットによる開催日以降の視聴等の対応は行っていない。

問食品ロスの削減
問児童虐待防止の取組



無所属 伊藤正子 15
その人らしく生きるために

問JR的場・笠幡駅のインターホンによる遠隔操作システム導入により、利用に支障を来しているが、今後市として何ができるのか、伺う。

答都市計画部長 JR川越線整備促進協議会の構成市と引き続き協議の上、駅構内の安全・安心な環境づくりについて、今年度の要望活動の内容に加えらるよう調整してい

や、講座以外での視聴では効果が得にくくなることから考えられることから、DVDやインターネットによる開催日以降の視聴等の対応は行っていない。

しかしながら、他県では動画配信をしている例もあるため、今後、研究していきたいと考えている。



清令会 小野澤康弘 16
スクールロイヤーの導入

問学校現場のさまざまな問題に対し、法的観点から解決に向けて支援を行う専門的な弁護士によるスクールロイヤーの導入について見解を伺う。

答教育長 近年、いじめ、不登校、生徒指導上の課題等に対し、多くの時間を費やしている状況がある。多様化・複雑化する学校問題に対応できる体制を整えること、チーム

としての学校の考え方に立ち、法律の専門家の観点から学校をサポートする必要がありと考える。教育の質を向上させ、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、また、教員の負担軽減のため、今後必要となる制度であると考えるので、導入に向けて検討していく。

問歯科口腔対策の推進
問学校教育の向上



公明党 近藤芳宏 17
課題解決に民間資金活用を

問ソーシャル・インパクト・ボンドを含めた官民連携の新しい手法に対して、スピード感を持って取り組むことについてどう考えるか。

答市長 今後の少子高齢化・人口減少社会におけるさまざまな行政課題には、既存の手法を踏襲するだけでは適切に対応できないこともあると思う。既成概念にとらわれず、

新しい手法を開発できる人材の育成や民間活力・発想を取り入れることがますます重要になってくると思われる。新しい手法には、さまざまなリスクや課題もあると思うが、スピード感を持って取り組んでいく姿勢が大事であると考える。
問予防的な投資
問健康経営の取り組み
問SIB

